

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																							
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~2日	4月 ~9日	4月 ~16日	4月 ~23日	4月 ~30日	5月 ~7日	5月 ~14日	5月 ~21日	5月 ~28日		
カンピロバクター	43	69	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	11	15	14	7	16	7	25	6	19		
病原性大腸菌	37	62	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	10	17	19	29	28	7	51	29 (3)	27		
腸管出血性大腸菌	0	0	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
サルモネラ	7	5	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	1	0	3	3	0	0	2	0	5		
黄色ブドウ球菌 MSSA	25	20	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	2	2	0	8	2	6	7	1	6		
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	19	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	2	2	3	5	3	3	3	2	6		
腸炎ピブリオ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
アデノウイルス	0	0	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2		
ノロウイルス	7	2	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	0	0	0	0	1	0	0	1	0		

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第21週(5月22日~5月28日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	7	結核	7	1		3		3			
三類	0	発生なし	0								
四類	4	日本紅斑熱	4			4					
五類	12	急性脳炎	1					1			
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2				1		1		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1							
		後天性免疫不全症候群	1						1		
		百日咳	3	3							
		梅毒	4	1						3	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.29人の報告があり、前週の約1.3倍に増加しました。

2 インフルエンザ

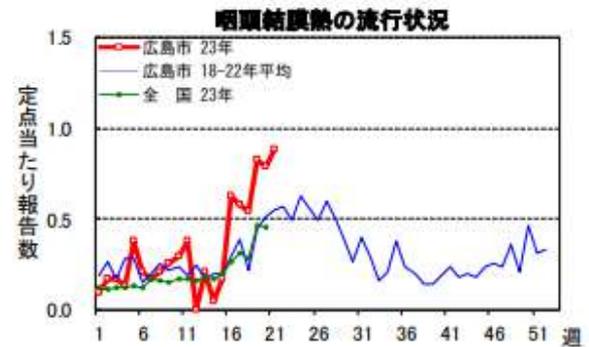
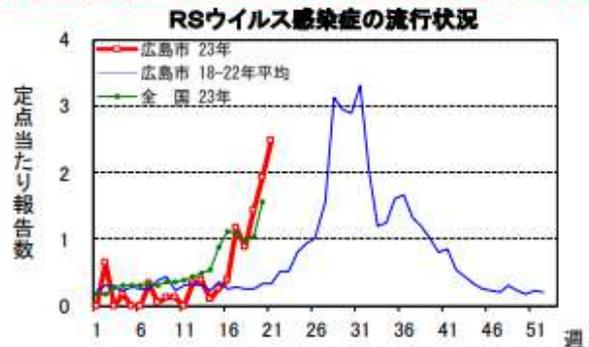
定点当たり3.20人の報告があり、前週と比較して減少しましたが、例年同時期と比較して多い状況です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が1件報告されています。

3 RSウイルス感染症

定点当たり2.46人の報告があり、増加が続いています。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、咳等の呼吸器症状がある人との接触を避けるなどの注意が必要です。

4 咽頭結膜熱

定点当たり0.88人の報告があり、増加しています。咽頭結膜熱はアデノウイルスによる感染症で、いわゆる「夏かぜ」の一種です。5～7日の潜伏期間の後、発熱、喉の痛み、結膜炎などの症状が出現します。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防を心がけましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号							
インフル	インフルエンザ	112	3.20	0.06	◇	小児科	ヘルパンギーナ	11	0.46	0.32	◇	流行性耳下腺炎	-	-	0.11	◇				
	新型コロナウイルス(COVID-19)	80	2.29	◇	眼科		急性出血性結膜炎	-	-	0.03			◇	流行性角結膜炎	3		0.38	0.50	◇	
小児科	RSウイルス感染症	59	2.46	0.33		◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	◇			無菌性髄膜炎	-	-	-		◇
	咽頭結膜熱	21	0.88	0.55	◇	マイコプラズマ肺炎		-	-	0.03	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-		-	-	◇		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	73	3.04	1.67	◇	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		-	-	0.06				◇						
	感染性胃腸炎	121	5.04	5.63	◇											◇				
	水痘	3	0.13	0.30	◇												◇			
	手足口病	6	0.25	0.64	◇														◇	
	伝染性紅斑	-	-	0.13	◇															
突発性発しん	6	0.25	0.36	◇					◇											

急増減 ↑ (赤) ↓ (青) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ (黄) ↘ (緑) 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↗ (白) ↘ (白) 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇄ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	52	20歳代・推定感染地域: 国外・2人、80歳代・1人
5	急性脳炎	1	2	10歳未満
5	後天性免疫不全症候群	1	3	20歳代・感染者